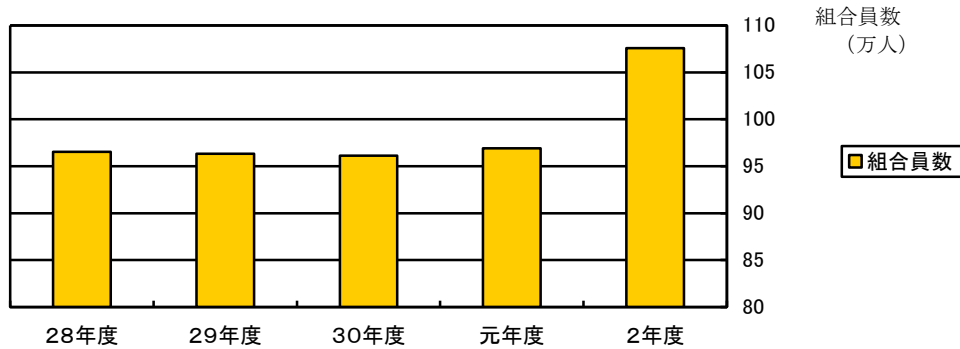


## 「令和2年度決算」の概要

### ○組合員数

2年度末の組合員数は107万5,727人で、元年度末より10万6,744人増加しました。

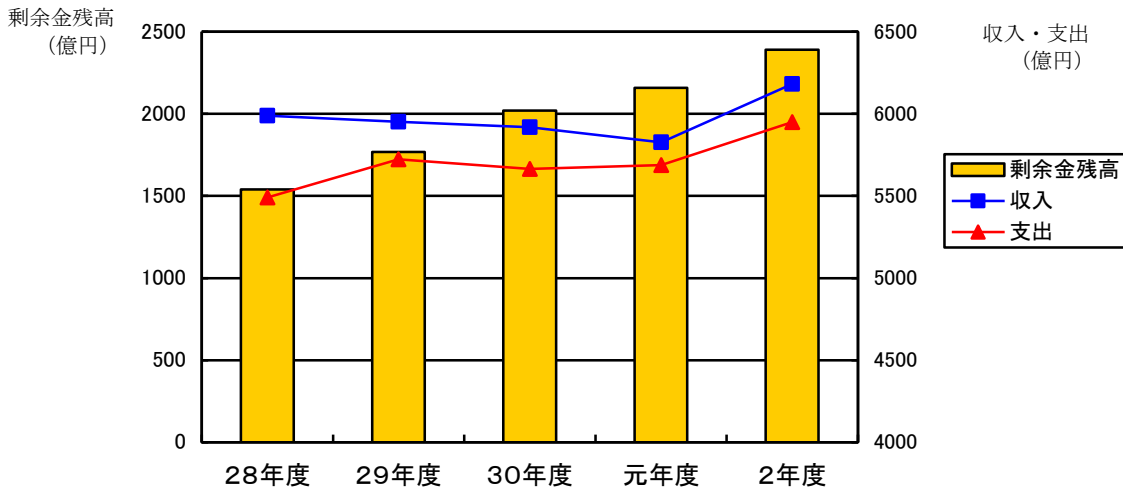
組合員数は、少子化や定年等の退職者数の増加を受けて減少傾向が続いていましたが、令和2年度は会計年度任用職員制度の導入に伴い、大幅に増加しました。



### ○短期給付事業

収入は、組合員数の増加に伴う標準報酬月額等総額の増加により、掛金・負担金収入が増加しました。給付に係る支出は、組合員数は増加した一方で、新型コロナウイルス感染症による受診抑制の影響により給付額は微増となり、また、高齢者医療制度への財政負担が大幅に増加したため、支出全体で増加となりました。

収支差約231億円を利益金として計上し、2年度末では剰余金が約2,390億円となりました。

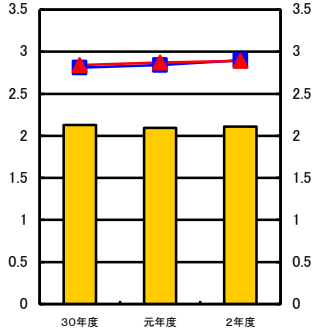


### ○長期給付事業

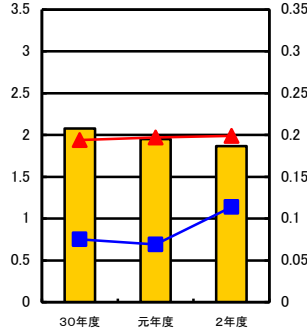
2年度末の長期給付事業に係る積立金は、厚生年金保険経理約2兆1,093億円、経過的長期経理約1兆8,668億円、退職等年金経理約4,955億円となりました。

積立金残高  
(兆円)

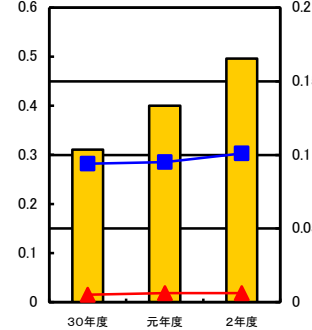
厚生年金保険経理



経過的長期経理



退職等年金経理

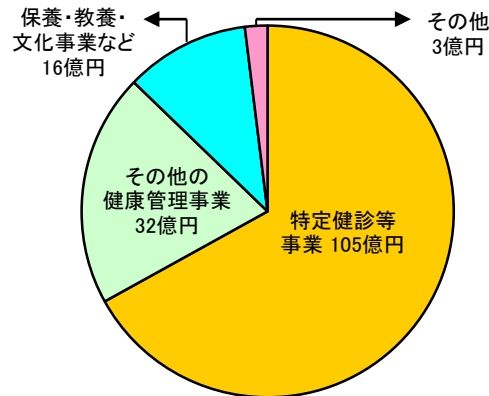


収入・支出  
(兆円)



### ○保健事業

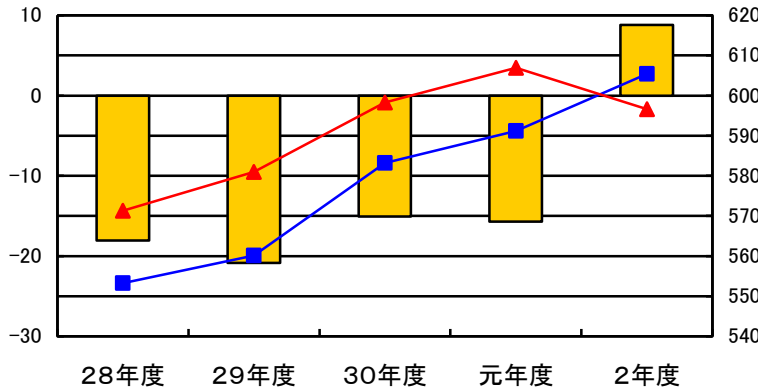
2年度の保健事業全体の支出額は約156億円となり、このうち、組合員とご家族の健康管理事業への支出額は、約137億円（支出全体の約88%）でした。



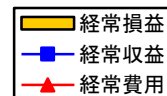
### ○医療事業

病院全体の経常損益は、新型コロナ関連の交付金等により補助金・寄付金が増加し、黒字となりました。引き続き、組合員のメンタルヘルス事業の充実を図るなど、職域病院としての役割を果たしつつ、経営改善に努めます。

経常損益  
(億円)

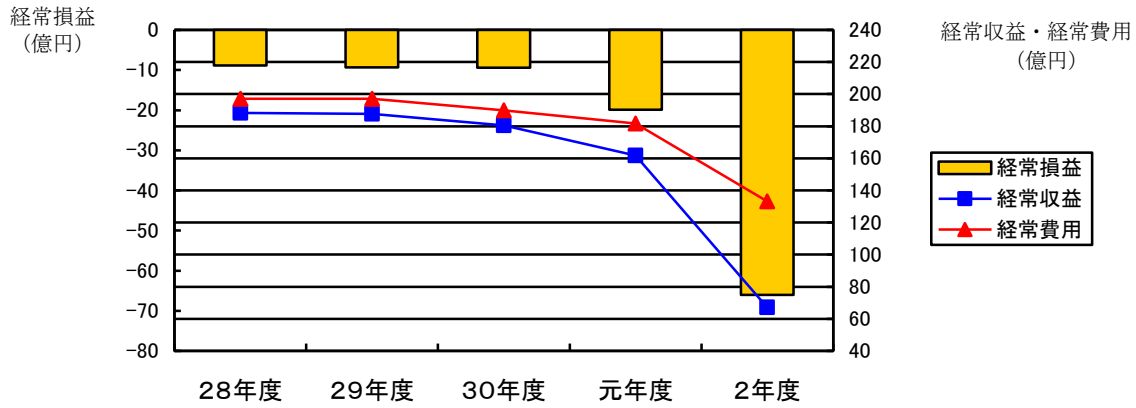


経常収益・経常費用  
(億円)



### ○宿泊事業

宿泊施設全体の経常損益は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大幅な赤字となりました。厳しい経営状況にありますが、サービスレベルの向上を図りつつ、経営改善に努めます。



### ○貸付事業

平成30年1月から貸付金利率を引き下げたことにより、平成30年度に新規貸付件数が一時的に増加しましたが、令和元年度以降は貸付件数、貸付金残高共に減少しています。

